



各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 藤井由実子
(コード番号: 3814 東証グロース)
問合わせ先 常務執行役員 菊本健司
電話番号 0836-39-5151
URL <https://www.afs.co.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2022年11月14日付「2022年9月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」および2023年2月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ及び特別利益・特別損失計上に関するお知らせ」にて公表いたしました。2023年9月期業績予想につきまして、修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社は2023年9月期第3四半期会計期間（2023年4月1日から2023年6月30日）において、特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年9月期通期業績予想数値の修正（2022年10月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,900	百万円 200	百万円 160	百万円 248	円 銭 77.42
今回発表予想（B）	1,800	100	70	158	49.32
増減額（B－A）	△1,100	△100	△90	△90	
増減率（％）	△37.93	△50.00	△56.25	△36.29	
（ご参考）前期実績 （2022年9月期）	1,336	△515	△553	△598	△209.35

2. 修正の理由について

2023年9月期通期業績については、期の前半は当初の予想どおり、コロナ禍で保留となっていた既存顧客へのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーシステムの入れ替えが進み、その後と考えていた、粗利の高い基幹業務システムのソフトウェアなど納品も同時に進捗し順調に推移いたしました。

しかしながら、今年3月末までに実施する予定でありました、債務超過解消のための資本増強が、7月にずれ込んだことなどから、新規取引となる、特に大手チェーンへの配膳AIロボットの受注などの結論が遅れ、今期の納品が無くなったことにより、2023年9月期通期業績予想は、前回発表から減収減益となる見込みであります。

上述の理由により、2022年12月28日付「事業計画及び成長可能性に関する事項」で公表しております事業別計画では、自動発注システム等の基幹システムの受注の遅れから、ASP/パッケージシステム事業において、前回予想比△500百万円の1,258百万円を予想しております。コロナ禍対策製品関連事業については、配膳AIロボットの受注の遅れから、前回予想比△600百万円の162百万円を予想しております。以上の理由から、前回計画の内容から修正することといたしました。システム機器事業、周辺サービス事業、店舗ショールーム事業については、前回発表の内容から変更ありません。

2023年9月期業績計画	2022年12月28日 事業計画 (A) (百万円)	2023年8月10日 今回業績修正 (B) (百万円)	増減額 (B - A) (百万円)
総売上高	2,900	1,800	△1,100
ASPサービス事業	2,102	1,602	△500
ASP/パッケージシステム事業	1,758	1,258	△500
システム機器事業	260	260	—
周辺サービス事業	84	84	—
コロナ禍対策製品関連事業	762	162	△600
店舗ショールーム事業	34	34	—

※決算開示では、コロナ禍対策製品関連事業の売上は、システム機器事業に含まれております。

上記の業績予想は、本資料発表現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

3. 特別損失の計上について

2023年9月期第3四半期会計期間（2023年4月1日から2023年6月30日）において、システム開発/検証を終えて閉店を決定しました店舗が所有する固定資産について減損処理を行い、減損損失6,711千円を特別損失に計上いたしました。なお、今後、新たなシステム開発のための検証店として再開することも予定しておりますが、現在再開日付が未確定であるため、特別損失に計上いたしました。

上記の特別損失の計上につきましては、本日公表いたしました「2023年9月期第3四半期決算短信」に反映しております。

以 上